燕岳、常念岳、大天井岳、蝶ヶ岳登山

日時　平成20年8月5～7日

場所　長野県

参加　5名

8月5日

4時起床、左足の親指の付け根が少々痛い。今回の行程を完歩できるか一抹の不安を抱え出発した。荷物もなるべく少なめに工夫をした。新宿発7時30分のあずさ3号に乗車。松本には10時45分ごろ到着。電車の中は栗原さんと栗原さんが知り合った60代後半のおばさんと話をし、退屈はしなかった。穂高駅で下車、タクシーで中房温泉まで、値段は7000円12時に登山開始、急な登山道を一気に登り始めたのでペースが掴めず、また暑い気候の影響で大量の汗を搔きながら少しずつ登り始めた。海堀夫妻は別行動で朝早くから登り始め、我々が登り始めたころにはすでに燕山荘に到着しているころであった。合戦小屋までは3時間の予定であったが、2時間40分で到着した。かなり頑張った。合戦小屋では名物のスイカを食した。１/8切れが800円とかなり高かったが乾いた喉には心地よかった。15時に合戦小屋を出発、合戦尾根の急な登山道をゆっくりと登った。16時に燕山荘に到着した。ほぼ予定通りの時間内に到着。小屋での1000円の大ジョッキが美味しかった。山小屋では個室に泊ったのでゆったりと過ごすことができた。

8月6日

4時起床、朝食前に燕岳に登った。朝の奇麗な空気の中、眼前には槍ヶ岳や穂高の山々が連なり雄大な景色を堪能しながらの登山は圧巻であった。6時30分山小屋を後にし、一路常念小屋を目指した。天候は良好、右サイドに槍、穂高の山々を見ながら気持ちの良い登山が続いた。周りにはコマクサが一面に咲き乱れ健気な雰囲気を醸し出していた。喜作レリーフに8時30分に到着約2時間を要した。（10分遅れだがほぼ予定通り）大天井ヒュッテ荘の上に9時20分に到着。喜作レリーフから直登で大天荘に行くルートがあるが、今回は山小屋のリコメンドもあり大天井ヒュッテ経由の回り道を登ることにし、少し時間がかかることになった。約30分余計に時間を要した。大天荘には10時8分に到着。そこにザックを置いて大天井岳（2912ｍ）を往復した。往複には20分を要した。天候は雲が少しずつ出始め、頂上では遠望は断たれた状態となった。11時に大天荘を出発、常念小屋を目指し登山開始。天候は曇り空になり槍、穂高の山々は見ることが出来なくなった。途中雷鳥に遭遇、何匹かに遭遇したが、そのうちの一羽は５羽の子持ちで、親鳥は我々の出現を警戒しつつ、それでも飛び立つことはなかった。雷鳥はよほどのことがない限り飛び立つことは無いそうだ。東天井岳を経由し、(そこでオーストラリアからきた外人家族と遭遇)そんなに大きな起復もなく、だらだらとした道を歩き、常念小屋に１３時２５分に到着した。（地

図では３時間を要することになっているが、２時間２５分で完歩した）

常念小屋では時間がたっぷりありゆっくりすることがで来た。1000円の枝豆付きのビールが美味しかった。夕食前のひと時に別グループとの交流をしたが、その内のクラブツウリズムのメンバーは、今回は3泊4日の行程で参加。ほぼ我々の工程と同じで、費用は７万円と言っていた。メンバーの一人の女性は60代後半で、先週はやはり旅行会社の旅行会に参加し、北岳に登ってきたと言っていた。来週もまた予定があるといっており、行けるときに行くというのが信条と言っていた。

この小屋は大部屋に泊ることになったが、全ての布団は埋ることなく比較的ゆったりと休むことができた。6時には就寝したが、そのまま寝ることが出来ないので、オリンピックの女子サッカーの試合をラジオで聞きながら就寝した。

8月7日

今回登山の最後の日だ。今日は長丁場の工程が組まれている。延々と11時間ほど歩き続けなければならない。昨夜は雨が降ったので朝の気候は大変さわやかであった。4時起床し、外に出てみたら、すっかり晴れ上がった空に槍や穂高の山々が眼前に迫っていた。素晴しいの一言に尽きる。6時5分常念小屋を後にし、常念岳への急な登山がはじまった。3日目ともなると足腰の疲労が目立ち、身体と相談しながらゆっくりと登山を開始した。途中、ご来光に巡り合い赤く染まった東空から太陽が今日は照らし続けるぞと言わんばかりに昇り始めた。常念岳に６時５分に到着した。約１５分休憩し、６時２０分出発した。朝食を常念岳から少し下山したところで６時５０分ごろとった。岩のごつごつした山道をゆっくりと下山して、また登り９時４５分に蝶槍に到着した。常念小屋から約３時間２５分を要した。（地図では３時間２０分でほぼ予定通り）さらに下山を続け、蝶ヶ岳ヒュッテに10時40分に到着。ほぼ予定通りの時間に到着。蝶ヶ岳ヒュッテを10時55分に出発。蝶ヶ岳山頂に11時に到着。天気は相変わらず良好。蝶ヶ岳を後にし、下山を開始。途中の11時45分に平地があったのでそこで昼食をとった。蚊の大群に悩まされた。途中長堀山を過ぎ、長丁場の急な山道である長尾尾根を黙々と下山した。行けども行けども先は見えない山道であり、登ってくる登山者とかなりの人数に遭遇したが、よくもこんな山道を登ってきたなと感心するやら、同情するやら複雑な気持ちであった。長い、急な、面白くない、苦しい坂道を終え、徳澤に14時8分に到着した。蝶ヶ岳ヒュッテをお出発してから約3時間13分を要した。(地図では3時間の行程でほぼ予定通り)徳澤ではかなりの旅行客が散在しており賑わっていた。ここは水が豊富で顔を洗ったり、新鮮な水を飲んだりして英気を養った。しばらく休息後、上高地に向けて出発した。上高地までは約6ｋｍの距離で、2時30分に徳澤を出発し、3時45分に上高地の河童橋に到着した。1時間15分を要したが地図では2時間の行程となっている。随分飛ばしたものだ。上高地の清水屋で温泉に入り3日間の垢を落とすつもりであったが、何と14時までした日帰り客は入れてもらえず、重たい足を引きずって約１ｋｍ歩いてきたのにガックリというよりショックであった。幸いタクシーはそこまで来てくれたので、汚い汚れたままの姿でタクシーに乗り込み、海堀さんの車が駐車してあるところまで下山した。タクシー代は4880円であった。タクシーの運転手に紹介してもらった「梓湖畔の湯」というところで汗を流した。湯上りのビールが美味しく、店が提供してくれたキュウリを切った突き出しが嬉しかった。松本駅まで海堀さんに送ってもらい、予定より1時間遅れた19時21分発のあずさ号に乗車した。列車内では反省会を兼ね、3人で弁当を食べビールを飲み語らった。帰宅は23時30分ごろであった。